

1 番 瀬 戸

受付番号第4号、1番、瀬戸恵津子でございます。

件名、山北駅前交番のあり方は。

神奈川県警は、平成31年3月に交番と（交番・駐在所及び警備派出所）の「事件事故への対応力の向上」及び「持続的な交番等施設の維持」のため、今後10年間で470か所を400か所に再編する計画を策定した。

その年の12月に、町民の方々より、「山北駅前交番がなくなるらしいのに、何も説明がないがどうなるのか」と問われた。また、11月の町長と語る座談会においても話題になり、町長から「代わりのものを整備する」と答弁があった。令和2年3月定例会に同僚議員より、交番廃止の中止について、一般質問があり、町長からは「交番の廃止は認められない」という答弁を聞いている。しかし、計画どおり、粛々と令和3年3月廃止に向けて進められているようだが、「安全で安心な住みよいまちづくり条例」に明記されているような、町としての対応はされたのか、説明を求める。

さらに9月には、アクティブ交番が配置されるので、御安心をというような回覧が松田署より地域に出された。

そこで、町としての考え方について、質問します。

1、アクティブ交番は交番機能を備えたワゴンタイプのパトカーで移動式なので、当初は毎日来ても、やがて隔日とかになるのではないかと懸念がある。また、交番等ということで、駐在所もやがて統合の対象になるかもしれない、今後に非常に不安がある。検討はされたか。

2、近隣の駐在所への統合とは。共和、岸、向原駐在所に統合ということか。業務の負担増等について、具体的に関係地域に周知すべきでは。

3、山北町の玄関口に存在する駅前交番の抑止力については、考慮されているのか。現状の土地建物を県より買い取り、松田警察署開成駅前連絡所のように利活用することを提案するが、その件について、関係機関と調整はされたか。

以上でございます。

議

長

答弁願います。町長。

町

長

それでは、瀬戸恵津子議員から「山北駅前交番のあり方は」についての御質問をいただきました。

初めに1点目の御質問の「アクティブ交番は、交番機能を備えたワゴンタイプのパトカーで移動式なので、当初は毎日来ても、やがて隔日とかになるのではないかと懸念がある。または、交番等ということで、駐在所もやがて統合の対象になるかもしれず、今後に非常に不安がある。検討はされたか」についてであります。神奈川県警では、交番の再編に当たっては、住民が交番に求める利便性と安全・安心のよりどころとしての安心感を高めるため、従来の交番機能を有し、機動力を生かした活動が可能な車両型「アクティブ交番」を整備することとしております。アクティブ交番はワゴンタイプとなっており、車両には伸縮式のひさしを備え、風雨や日差しを気にせず、各種相談や届出の受理、防犯啓発などの警察業務が行われるようになっております。

本町に配備されるアクティブ交番は、山北駅前交番の統合により配備されるので、愛称は、町のイメージキャラクターの名称を使用して、「でごにい号」となることが決まっております。他町に配備する予定はないと松田警察署から回答を受けております。

また、駐在所の統合について確認したところ、今後の10年間においては、神奈川県下の交番を統合するため、駐在所を統合することはないとの回答を受けております。

次に、2点目の御質問の「近隣の駐在所への統合とは、共和、岸、向原駐在所に統合ということか。業務の負担増について、具体的に関係地域に周知すべきでは」についてであります。松田警察署では、9月1日から町の回覧を活用して、山北交番の統合、アクティブ交番の整備に影響がある山北、岸、向原、共和地区に周知しております。

また、町では山北、岸、向原、共和地区の連合自治会長に構成員となっており、いただき、山北交番統合連絡会議を設置し、交番統合のメリット、デメリットなどの意見交換を行っております。山北駅前交番の統合に伴い、アクティブ交番がない時間帯は、駐在所が管理することとなりますが、メリットとしては、交番では実施していない住民に密着したパトロール等の警察サービスの提供が考えられます。駐在所のパトカーを使用することで、住宅地などの細かい路地までパトロールが可能となります。デメリットとしては、交番

がなくなること、防犯面の抑止力が低下することの懸念があります。このため、町民の安全と安心な生活を守るため、町として取り組んでいく必要があることについて、引き続き検討してまいります。

次に、3点目の御質問の山北町の玄関口に存在する駅前交番の抑止力については、考慮されているのか、現状の土地建物を県より買い取り、松田警察署開成駅前連絡所のように利活用することを提案するが、その件について、関係機関と調整はされたかについてであります。山北駅前交番は昭和55年2月に建設され、今年で築年数が40年を経過しているため、建物の老朽化が進んでおり、建物の継続的な利用は憂慮されております。開成駅前連絡所につきましては、松田警察署から相談員が派遣されておりますが、これは、駅周辺の宅地造成による人口増加や小田急線の急行列車停車による駅利用者数の増加により、警察署から相談員が派遣されているもので、県内では、小田急線大和駅前と開成駅の2か所のみと聞いております。山北駅前につきましても、相談員に派遣ができないか、松田警察署に確認いたしました。人口増加、駅利用者数を勘案すると、相談員派遣は困難であると回答を受けました。

町といたしましても、交番がなくなことは大きな不安を感じる地域住民のいる現実を重く受け止めなければなりませんので、可能な限りあらゆる治安対策を考えてまいります。

議 長 議席番号1番、瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 町長からただいまお答えいただきました。この中で、まず、現状はこれからも安全防犯対策を考えていくという、今の状況が、可能な限りあらゆる治安対策は考えてまいりますという結論でございますね。私が最初にこの質問状を出しましたときに、第5次総合計画でうたわれております安全で安心な住みよいまちづくり条例というのがございます。このところの町の責務という、こういう項目に関して、町長はどのように受け止めていますでしょうか。

議 長 町長。

町 長 やはり、先ほど瀬戸議員のときにも答えたのですが、山北町、あらゆるものが人口減に伴いまして、閉鎖とか、そういうような縮小とか、様々なことが実際に起きております。それに対して、どのように町として、安心安

全を確保していくか、そのためには、やはり、いろいろな最新の機器とか、様々なものを活用して、そういったものに補っていかなければいけないのではないかというふうに思っておりますので。認めるかと言えば、認めないのですけども、しかし、現実的には本当に今様々な交番等だけに限らず、様々な生活に関するもの、あるいは安心安全に関するものが検討されているということでございますので、それに対しては、町としては、最大限町民の皆さんに安心していただけるような方向で考えていきたいというふうに考えております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 何を考えていくんでしょうか。町は、安全で安心な住みよいまちづくりを実現するために、具体的な施策を計画し、その実施に積極的に努めるものとする。また、3では、町域を管轄する警察署、消防署等の行政機関等から意見を聴取するとともに、協力を求め、密接な連携を図るものとする。何か答弁を聞いていますと、こういうふうに言われたからこうするよということだけなんですけど、どのような警察署に対して、町の町民の声をどのように町長は受け止めて、行動をされたのでしょうか。

議 長 町長。

町 長 以前に、清水議員からも様々な御質問を受けて、答弁させていただいておりますけども、町としては、できる限り全てのものが現状維持が最低限できれば一番いいというふうには思いますけども。しかし、いろいろな企業であったり、県であったり、そういったようなところが、今の現状ですか、それを効率的にやるために、我々のほうとして、いろいろな折衝をしまいであります。それに対して、私のほうとしては、もちろん、現状維持が一番いいんですけども、しかし、やむを得ないときには、それに変わるものを何とかお願いする。また、よりよくなるような方法があれば、そのようにしていくということで。県の役割、町の役割というふうなことで、どうしても、町でできることは町でやろうというようなスタンスでやらせていただいております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 町でやれることは町でやろうということであるならば、近隣では、開成役場、開成の駅前の交番が、やっぱり町主体でそもそも始められたと聞いてお

ります。その点について、開成町駅前交番の在り方についても検討をされましたのでしょうか。

議 長 総務防災課長。

総 務 防 災 課 長 開成駅前に相談所があるんですが、それと同じような検討をされたかということなんですが、やはり、私もこのお話を1年前に初めて聞いたときに、まず開成駅のことを思い浮かべまして、その辺につきましては、松田署のほうと協議のほうはさせていただきました。ただ、松田警察署のほうからは、ちょっと無理があると、町長答弁があるとおおり、ちょっと無理があるということに回答をいただいております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 瀬戸でございます。

無理があるということは、駅前ということにこだわられて、乗降客数、たしか七、八百だったと思うんですけど、山北駅前。それで、人口減は、日本中人口減ですので、これは、もうちょっと回答にはならない、理由にはならないかと思うのですが。駅前ということの範疇で、多分お答えになられたのだと思うんですが、とにかく町長が何をなさったかということをもうちょっと深く伺いたかったのです。

じゃあ、アクティブ交番ちょっと置いておいて、前段でございます。過去の話について、ちょっと確認させていただきたいと思います。さっきおっしゃったように、清水同僚議員が令和2年3月に質問されて、お答えの中で、町長の答えです。清水議員が「廃止に対する町の基本的な考え方はどうか」と聞いたときに、「神奈川県での厳しい財政状況の中における神奈川県警の判断、決定であつたとしても、町としては認めることはできない」と。「認めることはできない」とおっしゃっています。そして、また、「住民の不安などに対して、関係機関に要望していく」というようなこともおっしゃっているのですが、具体的には動いていただけたのでしょうか。

議 長 町長。

町 長 そのときも情報だけ聞いて、それについては承認できないというような、当然、町としてはそういうようなスタンスでおりますけれども。しかし、当然、だんだんアクティブ交番、あるいはそういったような割り振り、そうい

ったようなものも、実際に、その後聞いておりますし、また町としても、できるだけ、そういうような後から不安が起きないようにということで申し上げさせていただいております。そういったような中で、だんだんできて、方向性が県のほうが出てくることによって、町のほうは、じゃあどうしたらいいと、実際にこれからできること、そういったようなことを検討しているということで。例えば、監視カメラをつけられないかとか、あるいは、例えば老朽化している建物が壊した後に、町がそういったものについて、後での使用ができないかとか、そういったようなことも含めて、できるだけ町民の皆さんに不安を感じないような方法がとれないかということで検討しているところでございます。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 ただいまの御答弁にありましたように、今のままが老朽化して、39年もたっているということで、それは、手を入れれば、そこへ在住するわけではありませんので、1階だけを使って、手を入れて、何がしかの、その置いていただくって順番とかに対して、開成の駅前の交番のできたまでの経緯をきちんと考えて、相談されて進めてきているのかということを伺っているのです。今、だから町長が防犯灯つけたりすることも可能みたいなことをおっしゃいましたから、そういうことも、3番の話になってしまうのですが、そのようなことも、今考えているけれども、今の場合は言えないというような状況なんでしょうか。

議 長 町長。

町 長 開成駅と同じようなことは、相談員が派遣をしていただけない。それから、人口が駅前を利用する人が、片方は増えている。山北駅については、減少している。そういうような中でございますから、開成と同じようなことをやるのは、いささか無理ではないかというふうに考えておりますので、それ以外の方法は何かとれないかということで、町としては検討しているところでございます。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 それでは、検討するということでございますので、おいおい、また聞いていきたいと思えます。

1 番についてです。アクティブ交番についてですね。アクティブ交番は、ワゴンタイプのパトカーで、移動式なので、これは、山北専用の「でごにい号」ということにするので、山北専用になるということなんですが。これは、どんなふうな行動、例えば来ました。どうなっていくのか、御説明ください。

議 長 総務防災課長。

総 務 防 災 課 長 アクティブ交番がどうなるかということなんですが、松田警察署も、最初からアクティブ交番を導入した場合、町の意向も受けながら、配置場所も考えられるというような柔軟な答えだったんですが、実際、今固まっている案ですと、例えば、午前中は役場の駐車場にアクティブ交番が来て待機すると。午後は、駅前の交流センターの横に1時間ほどいまして、その後、14時半からは川村小学校の下で登下校の見守りという1日をこの流れでやるような計画を持っているようです。実際、先日11月27日になるんですが、デモという形で、まだ車両が配置されていないので、実際の車両じゃなかったのですが、松田警察署の車両が来まして、午前中役場、午後ふるさと交流センター、その後、川村小学校の下校の見守りということで、1日デモとして動きました。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 そうしますと、その中には、交流センターというものが駅前にあるということなんですが、観光地として、あそこにある駅前にある抑止力というようなことは全然なくなってしまうのではないかと考えますが、これでも十分よいと思われますか。

議 長 総務防災課長。

総 務 防 災 課 長 実際、先ほど、私、デモを11月27日に行ったと言いました。それは、今言った3か所に、実際、車両が配置できるかどうか、配置した後、周りの人から、それがどう映るかというような検証も、実際行いまして。駅前につきましては、最初、車両が駅と反対側のほうを向いていたのです。駅の改札と反対側のほう。検証の中で、どうしても車を停める都合でそうなったんですが、これはちょっとまずいだろうと。やっぱり駅に向かってやったほうが目立つだろうということで、実際はそのような配置に4月以降なるような形で、車両の配置も考えるということで、十分、駅前の配置については、駅からおりてくる人、買物に来る人、観光協会のほうに来られる方と、非常に今の交番

の位置より、非常に目立つ配置になると考えております。

議長 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 アクティブ交番というのは、今はやりのアクティブラーニングとか、自分が自主的にどんどん動くよということなのでしょうけど。私が警察官だった、OBの方に伺ったところ、どちらかというと、都会向きだと言うのです。例えば、業務が非常に多い、道を聞かれたり、財布を落とした、何だかんだ来る人が多い。そのときに、留守というのは、案件があるから出ているんですけど。そういうところにふさわしいのではないかとということで、私は、山北町にはあまりふさわしくないと思います。

それで、やっぱり抑止力のことを考えたら、町長も簡単に、防犯カメラは簡単なのでしょうけど、この前の町民の語る会でも電話を置けばいいとかおっしゃいましたが、電話は、やっぱり警察用の電話を置くには、ある程度、きちんとしたものがなければなくて、コンビニとか、そういうオープンコーナーみたいなどころには置けないというようなこともありますし、とても細かい、いろんな制約もあると思うのです。アクティブ交番で、ひとくくりにして、今、交番の駐在さんが川村小学校なんかにも見守ってくださる分もアクティブ交番が来てくれると。交番の方は、さらに大変な業務が多忙だと聞いていますけれども、自分のことにも、ほかのことに力を費やせるので、それはそれでいいだろうと言われるんですけど。やはり山北町にとって、アクティブ交番って、山北だけが、今回廃止される中で、山北だけがこういうロケーションのところだと私は考えています。12か所の中で、山北だけやっぱり違うのではないかなと考えます。

ですから、アクティブ交番やってみなければ分からないのでしょうけれども、70か所減らすということの中で、12か所ですから、あと58台、県警が果たして、全部そろえるかと言ったら、それも、まだ見通しは確たるものではないというふうにも聞いております。山北は、そういう意味で、ある程度おまけをつけてくれて、でごにい号ということで特別なだろうと、それは分かりました。

それでは、その点については、理解いたしました。じゃあ、駐在所を統合することは、今後もないということによろしいでしょうか。



議 長 町長。

町 長 先ほど、お答えさせていただきましたように、駐在所の統合は10年間はないというふうにお答えをいただいておりますので、そういうふうを考えております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 何でこんなことを聞くかと言いますと、開成の連絡所を造るときに、吉田島駐在と、酒田駐在所を廃止して、駅前に交番を造るのならいいというような感じのことを言われたときに、やっぱり町はそれでは困ると。そして、連絡所を町として用意したということで。最初は、もちろん無人でした。建物だけでした。そういう、いろんな経緯があるんですが、そういう経緯の発表もなく、回覧1枚で進んでいくということに、とても不安を覚えますが、一番最後のところに検討するとあるんですが、どういうふうに検討されるかということを、今後3番目に移って聞かせていただきたいと思います。

2点目の駐在所の配置ですけれども、山北交番統合連絡会議を設置し、メリット、デメリットなどの意見交換を行っておりますということで、その中でメリット、デメリットお聞かせ願いたいと思います。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、今回の交番の件については、デメリット、メリットあると思います。その中で、メリットとしては、やはり機動力があるということで、つまり1か所だけではなくて、数か所に要望があれば移動できる。また、駐在所のエリアが今度はしっかり決まりますので、当然、各家庭にそういったようなパトロールが駐在所の方から入ってくる。そういった意味では、住んでいらっしゃる方に安心感を与えるのではないかというメリット。デメリットのほうは、先ほどから申し上げておりますように、抑止力について、どのように対応していくかというようなことだというふうに思っております。私は、以前にPTA等をやらせていただいたときに、山北町の人口減少について、小学校でしたけども、通学路が3年ごとにころころ変わってくると。当然4、5、6年生が卒業しちゃうと、その後に入る方が、また非常に変わってきて、そのたびに通学路をいろいろ検討したことがございます。そういう経過の中からも山北町にとっては、アクティブなほうがいい場合も

あるのではないかなというふうには思っておりますけど。抑止力については、皆さんの提言も聞きながら、最善の方法をとっていきたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 ただいまおっしゃいました抑止力について、最善の方法をとっていきたいとおっしゃいますが、具体的にはお答えください。

議 長 町長。

町 長 まだ、私は、ただ思案でございますけども、そういった意味では、監視カメラ等を配置、どこかに。駅前ところに配置できないかということと、それから、先ほど言いましたように、今跡地、それが建物を壊していただかないと、どうしても費用的にはあれですけども。そういったものが、県のほうから使っていいよということになれば、何らかの形で、そこに抑止的なものが置けないかというようなことは考えておりますけど。それ以外は、皆さんのいろいろな提言をお聞きして決めていきたいというふうに思います。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 たしか、2回あれを壊して何とかしていきたいとおっしゃいましたから、これは私の思案ですとおっしゃいましたが、もちろん、ここは議場でございますので、私が一番最初に申し上げたように、最初に、過去にある事実としては、町長が絶対認められないとおっしゃった。代わりのものをやりましょとおっしゃった。今言われましたけど、町民の声というのは2,605人の要望書に入っていると思うのです。

でも、ちょっと伺いますが、2,605人の松田署に届けられた要望書については、それは町民の声、改めてじゃなくて、それは声だと受け止めていただけるんでしょうか。

議 長 町長。

町 長 当然、町民の皆さんから、今の現状がいいというのは、当然なことだというふうに思っています。あらゆるものが、全て、今まであったものがなくなるということは、当然困るということは承知しておりますので、そういった意味では、山北町は、先ほどから申し上げているとおり、非常に人口減少、そして、こういった中で様々な問題がそこに関わってくる。例えば、これか

ら町でも、こういった町有財産を長期的にはやっていかなきゃいけませんけど、その中で存続するものと廃止するものはどうしても出てしまう。そう言ったときに、当然、使っていらっしゃる方は反対ですよ。ですから、そういうこととやはり同じで、それはあったほうがいいに決まっていますけども、どうしても、そのところで、ただ反対ですと言って決まる、承知していただければ、私のほうとしては非常に助かるのですけども。それが無理であれば、やはり最善の方法を考えるのが我々の務めではないかというふうに考えております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 瀬戸でございます。

あったほうがいいのかという問題ではないと思います。今、エッセンシャルワーカーとか、すごく言われていますよね。なくてはならないもの、町民の生活、国民の生活でなくてはならないものは、それはなくしてはいけないわけですよ。ですから、町長ここまでお書きになって、これから、引き続き検討してまいりますとおっしゃるんですが、じゃあ、取りあえず、アクティブ交番というのは、まだ、これから町の考えは出ていないという形で、その間に考えるという形で受け止めてよろしいのでしょうか。ちょっと、とても変に思うんですけど。

議 長 副町長。

副 町 長 議論の中で、山北駅前の交番というのは、町が決めたことじゃないんですよ。県の警察が決めたことなんです。それに対して、町は一生懸命何か残さなければいけないということで抵抗してきたわけです。ですけれども、アクティブ交番を町が認めた、認めないということではなくて、そうじゃなくて、交番を廃止するなら、県がアクティブ交番をやりますよと言ってきたわけです、県の警察が。町としては、それでも、本当はあったほうがいいんだけれども、最悪の場合、アクティブ交番のほうがゼロよりはいいわけですよ。そして、今の交番の跡地についても、町は慎重に考えてきた抑止力を高めるために考えていきたいということを言っているわけです。町長、町としては、今あるものを残していきたいというのは、もう当然のことなんですけど、いかんせん町のものじゃないんです。その辺は、ちょっと御理解いただ

きたいと。町としては、精いっぱい抵抗してやっていますということで、認められないということでやっています。

議長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 精いっぱい抵抗してやってくださっているのでしょうか。アクティブ交番は、だから、県警はアクティブ交番をやるよと。でも、町はゼロよりはいいから、それはそれで、アクティブ交番はそれで置いておきます。

それでは、3番のほうに移りますが、先ほどから、もう何回もお話が出ていますが、跡地って壊して県の土地ですから、それを町が払い下げてもらって、そして、そこに跡地に交番はできないのは分かっているんです。ですから、連絡所を建てるべきではないかということを申し上げています。それで、やり方が順番だってやっていけば、行政の方ならちゃんと分かっていることだと思うんですが。

ちょっとごめんなさい、当初開成町は、建物だけは用意しました。それから、ずっと無人でした、駅前。赤色灯はつきます。それで、電話はつきました。でも、無人でした。それで、やっとOBが入ったのが、平成24年でしたか。OBの警察官が配置されたの。それだけかかっているんですよ。

ですから、ぜひ交番相談員といって、OBの方なんですけど、警備は持たない。あの中にいるだけです。月曜日から金曜日まで。そうしたら、今のところを壊して、建物を建てれるなら建てて、そして、そういう連絡所にできないのではないかとということを提案しているわけです。

議長 副町長。

副 町 長 先ほどは町長も申し上げましたが、今の駅前交番があるところが、全て、あの場所に建て替えなきゃいけないなんて思っていない。もっといい場所が駅のそばにあるかもしれない。その辺も含めた中で、まず先に側を造って、後を入れるという意見は大賛成ですので、そういう形で、例えばコンビニのある近所とか、あの辺のところにやるとか、ほかのところがあれば、なるべく目立つところに、やっぱり構えていったら。あそこの何と言うんですか、ちょっと遠いんですよね。あそこがいいとは思っていません。でも、町長は何かやらなければいけないということを言っていますので、その辺のところから検討していくということでございます。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 何か言いくるめられているみたい。ここで確認しておきたいことは、だから、あそこは、令和3年3月で廃止になると。じゃあ、そのとき、現実問題として、どうなるのですか。すぐ取り壊すんですか。それとも、放置しておくのですか。

議 長 副町長。

副 町 長 3月31日廃止になりましたけど、県の予算の関係で、県の警察なのですが、しばらくそのまま置いておくようです。その状況を見た中で、ただ、人の配置はなくなります。その中で、アクティブ交番というのは、駅前にどういふふう配置されるか。その辺も見た中で、適切な判断をしていかなければいけないというふうに思います。まだ、建物はしばらく残るみたいですよ。一遍に壊せないみたいです。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 瀬戸です。

じゃあ、しばらくはということ、どのくらいなのでしょう。1年でしょうか、2年でしょうか、3年でしょうか。

議 長 総務防災課長。

総 務 防 災 課 長 ちょっと警察ともその辺の情報を欲しいということ言っているのですが、しばらくは予算がつかないということを言われています。ですから、1年、2年、3年、実際に何年とは言えないんですが、当面は、予算はつかないだろうということを言っております。土地は県の土地なんですが、建物は、県でも警察のものなので、警察予算で壊さないといけないので、予算はいつつくか分からないということ言われております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 では、現状イメージしてみますと、あのまま建物が残って無人になって、アクティブ交番は駐車場のところにも来る。じゃあ、そこの中の空間はアクティブの警察官がおいて、その中の場所は、例えば、山北町に条例にもありますように、防犯指導隊とかございますが、そういう方が詰めてくれるとか、何かそういうような考え方があるんでしょうか。

議 長 総務防災課長。

総務防災課長        その点も警察に確認しているんですが、今のところ、松田警察署は、山北駅前交番は統合したということになりますので、県警としては。ですから、あそこの施設はクローズにするということを聞いております。ですから、出入り等はできないようにするということを聞いております。

議                    長        瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸        そうしますと、周りに要するに汚い、こんなことをやったりする。しちゃうわけですか。閉じて、何か板を貼るとか、鋼板貼るとか。看板外すだけじゃなく。

議                    長        総務防災課長。

総務防災課長        まだ、そこまで細かい話は情報として得てないんですが、とにかく、あそこは出入りができなくするということで。それを、ですから、今議員さんが言われるような形でやるのか分からないんですが、今のところ、とにかく人は出入りはできないだろうということを聞いております。

議                    長        瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸        あそこの中にはトイレもあるし、警察官の方も出入りができたほうがいいと思うんですが、それは鍵を開けて入るか分かりませんが。じゃあ、とにかくそうしたときに、1年か、2年か、3年か分かりませんが、そういう状況に、ベニヤみたいなものを貼った状況で置いておけるかといったら、なかなか置いておけませんよね。どうですか、気分として。

議                    長        副町長。

副 町 長        以前に、神奈川県緊急財政対策があったときに、玄倉のビジターセンター、あれ、いまだにこうなっています。入り口が何といいですか、木の面で、入れないようになっています。だから、それは、あのまま置けませんねというのは、それは県の警察が判断することであって、我々是一日も早く壊してほしい。次のもの、利活用があるかもしれないと言いますけれども、我々が夜行って壊すわけにいかないの、その辺のところは、御理解いただきたいということでございます。

議                    長        瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸        ええ、そこは、ですから、先ほどから皆さんがおっしゃっているように、町長の手腕だと思うのですが、町長にしかできないと思うのです。そうい

う交渉事は。ですから、そういう意味でこういうふうにはしておけないから、玄倉なら、そう言うてはなんですけど、山のほうですけど、あそこは駅前ですよ。それで、そういうことは、やっぱり少しは考えていただきたい。寂れ感がすごいじゃないですか、そうしたら。そういうことに対して、黙っていられますか。町長、ぜひ動いていただきたいと思うんですけど。

議 長 町長。

町 長 できるだけ早く壊していただく、あるいは、またそういう景観に配慮していただく。そういうようなことは、当然申し上げなければいけないというふうに思っておりますけども。あくまでも、県のもので警察署の、警察のものでございますから、そちらのほうの判断に我々は要望をしていくということになると思います。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 我々はじゃなくて、町長お一人で一生懸命頑張っていたきたいと思えます。だって、町長じゃなきゃできないことってございます。ですから、その点において、ぜひ山北町の玄関口でありますし、町民の希望でもありますし、ぜひ、これから、まだ可能な限り、あらゆる治安対策を考えます。先ほどおっしゃったように、交番を取り壊して何かを建てるかもしれないという目的、希望とかをお答えできますか。

議 長 町長。

町 長 何回も申し上げているとおり、皆さんにとって抑止力になる交番がなくなる、あるいは閉鎖して使えなくなる。それに対して、町がどういうふうにできるかという。あくまでそういうような視点で見っておりますので、あくまで皆さんに少なくともあれがなくなっても、アクティブ交番についてはアクティブ交番、そして抑止力については、どういう抑止力が使えるのか。どういように例えば、見ているよというふうな監視カメラをどういうふうにつければいいとか、つけれるか、つけれないかもまだ検討しておりませんけども、そういったようなところとか、あるいは皆さんが何か急用があったときに何らかの方法がとれないとか、そういったような抑止力を皆さんと検討しながら、実際に町としてできることをやっていくというようなことになるのだろうというふうに、私は捉えております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 それでは、そういう先ほども副町長もおっしゃったけど、あそこは限りませんよと言われるところを思いますと、例えば、今の駅の、昔のヒリスアがあったところとか、例えば体育施設ができますね。その中に、そういう交番とはいいません。そういう防犯的な施設ができるのではないかというようなことに関して、どのようにお考えでしょうか。

議 長 町長。

町 長 JR東海さんと、また、あれしなければいけませんけども、そういったあらゆる方法で、要するに皆さんの御心配の抑止力をどのように提言できるか、していけるかという、そっちのほうで、私は大事なことはないかなというふうに思っておりますので、どうしても何か交番の跡地利用という、そういうことじゃございませんので、あくまで、その辺ははっきりと抑止力をどういうふうに高めていくかというふうに絞ってやっていきたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 それでは、3月の定例会のときにもお答えがあったのですが、町議会、地域住民で組織するような、要するに対策委員会です。今後どうするかということ。どうなっていくかを見守っていくというか、そういう組織については、お立ち上げをお考えはあるでしょうか。

議 長 総務防災課長。

総 務 防 災 課 長 3月、清水議員からの御質問いただいたときに答えたのが、あくまでも、仮に来年の3月31日に統合が決まったとして、そして4月1日から新しい治安対策というときも、そのときで全て決まるんじゃないんだと、いろんな治安対策がこれからもA I とかが全部どんどん進んでいけば、いろんな対策ができるので、そのときで全部決めるんじゃなくて、引き続き、ずっと考えていく。対策は打っていくというような答弁のほうをさせていただいていると思います。

ですから、対策はそのようにやっていくんですが、今言われた住民を巻き込んだ会議体ということで、まずは、答弁のほうでも答えさせていただいたんですが、9月17日に連合自治会長4人に忙しい中、ちょっと集まっていた



だきまして、連絡会議というものを設置しました。その中で、こちらから、警察が今こういう動きをしていると。連合自治会長、自治会としては、どのように考えますとか、どういう対策をとっていただければよろしいかというような会議を9月17日に立ち上げました。第2回目も集まっていたかかったんですが、コロナの関係もありまして、書面会議ということで、第2回目を11月25日に開催しております。もう既に2回開催したんですが、まだまだ情報交換すべきことはあると思いますので、今後もその会議を基に、町民の方と情報交換をしていきたいと考えております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 3月いっぱい交番がなくなることは確かですね。現実問題として、それは確かか。それから、今後そういう会議体で、山北交番統合連絡会ということですか。それで、この中で、住民代表の中で検討していくと。それで、町の県との折衝について、ここが一番重要なことだと思うんですが、計画をしっかりと立てていかなければ、あっという間にたってしまうでしょ。去年の12月に私はこの話を地域の住民の方から何も説明がないじゃないかということとで知らされました。それから、役場、課長とか含めて説明を受けました。何せ時間がたってしまうんですね。特に今コロナですから。スピーディーにそういうことについても責任を持って。町長、私の考えですからとおっしゃっても、町長は町長ですから、ちゃんとおっしゃったことに対して責任を持っていただきたいと思います。過去の言葉に対しても、代わりのものをつくると。そして、私は廃止することには反対だということをおっしゃったんですから、そのような行動を取っていただきたいと思います。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、非常に交番等については憂慮しておりますんで、そういった意味ではできる限りのことはさせていただく、あるいはまた考えていかなきゃいけないというふうに思っております。

ただ、あくまでも先ほど申し上げたようなことが決まったわけじゃございませんので、ただ、なくなることと、先ほど言ったように、どういうふうに対応ができるかということは、これから決めていくことでございますので、課長が言いましたように、ずっと、これからは皆さんとただ1回やればいい

ということじゃなくて、当然、その中で、つまり何かつくればいいということじゃなくて、あくまでも安全・安心をどのように担保するかということですから、その先にあるものはつくらなきゃいけないようなときは、つくらなきゃいけない、そうでないときにはそういう中の予防策、あるいは、そういったようなものをつけていかなきゃいけないというふうに思っておりますので、これからも町民の皆さんの安心・安全を守るために続けてまいりますので、そういう意味では、私は決して一過性のものではないというふうに考えております。

1 番 瀬 戸 終わります。